

平成26年 消防概況をお知らせします

■火災

		平成25年	平成26年	増減
火災 件数	建物火災	15	12	-3
	林野火災	5	1	-4
	車両火災	5	3	-2
	その他	8	9	+1
	合計	33	25	-8
死傷 者数	死者	1	1	0
	負傷者	1	1	0
損害額 (千円)		44,925	12,843	-32,082

▷消防団の出動

25件のうち、6件

▷原因

たき火6件、たばこ3件、こんろ2件、放火の疑い1件、その他9件、不明・調査中4件

▷消火活動

4月に妻木町で発生した林野火災では、たばこの不始末により4,100㎡と広範囲に延焼拡大し、消防団も召集され大規模な消火活動となりました。

▷対策

市では、次の重点推進項目を設定し、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

- ①火災による死傷者数を低減するため、住宅用火災警報器の設置を呼び掛ける「住宅防火対策」
- ②警戒巡視などの「放火火災防止対策」
- ③各施設への立ち入り検査および消防訓練の立ち会いなどの「不特定多数の方が利用する施設や福祉施設などの防火安全対策」

■救急

		平成25年	平成26年	増減
救急 件数	急病	1,479	1,487	+8
	一般負傷	353	369	+16
	交通事故	238	211	-27
	その他	322	368	+46
	合計	2,392	2,435	+43
搬送人員		2,289	2,318	+29
1日平均		6.55	6.67	+0.12

▷救急件数

平成26年中における救急件数は2,435件で、1日平均6.67件出動したことになります。搬送人員は2,318人で、市民約26人に1人の割合です。

全国的にも、高齢化の進行などにより救急件数は増加しています。土岐市でも全搬送人員の約65%を65歳以上の高齢者が占めています。

▷救急車の適正利用を

救急搬送した2,318人のうち、約4割の980人は入院の必要がないとされる「軽症」の方でした。本当に救急車が必要な人の元へ1秒でも早く救急車を到着させて大切な命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

■救助

		平成25年	平成26年	増減
救助 件数	交通事故	18	18	0
	その他	8	10	+2
	合計	26	28	+2
活動件数		13	13	0
救助人員		13	14	+1

3月1日(日)～7日(土)は春の全国火災予防運動

『もういいかい 火を消すまでは まあただよ』

(平成26年度全国統一防火標語)



消太

住宅防火 命を守る7つのポイント — 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- ▷寝たばこは、絶対やめる。
- ▷ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ▷ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ▷逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▷寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐため、防炎品を使用する。
- ▷火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ▷お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

問 消防本部 (☎)3119